年間授業計画 新様式例

高等学校 令和８年度　教科　公民　科目 政治・経済

教　科：公民　　科　目：　政治・経済　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　　選択者

教科担当者：

使用教科書：（ 実教出版　最新政治・経済 ）

教科　公民　　の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】　社会的事象などに関する理解を図るための知識とそれを調べまとめる技能を身につける

【思考力、判断力、表現力等】　社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連を考察する力、課題を把握し解決する力を養う

【学びに向かう力、人間性等】　主体的に取り組む態度、多面的多角的な考察などを、内容に応じて整理することができる

科目　政治・経済　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けさせる。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養わせる。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深めさせる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	・基本的人権の歴史的発展や法の支配について理解する。 ・憲法で保障されているさまざまな自由権について、具体的な判例を通じて理解する。 ・社会が変化するなかで重視されるようになったさまざまな権利の内容を理解する。	第１部現代日本の政治・経済 第１編現代日本の政治 第１章現代国家と民主政治 第２章日本国憲法と基本的人権	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 民主政治の本質を基に、日本国憲法と現代政治の在り方との関連について多面的・多角的に考察し、表現しているか、定期考査及び提出物で評価する。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	・こんにちの日本の安全保障政策の課題について理解する。 ・日米安全保障体制の役割と課題とは何か理解する。 ・日本の政党政治の特徴と課題について理解する。 ・日本の選挙制度の特徴と課題について理解する。 ・地方自治の本旨や住民の権利について理解する。	第１部現代日本の政治・経済 第１編現代日本の政治 第２章日本国憲法と基本的人権 第３章日本の政治制度と政治参加	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 我が国の安全保障と防衛について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしているか、定期考査及び提出物で評価する。	○	○	○	10
	・冷戦の終結によって国際社会はどうかわったのか、紛争やテロの背景にはどのようなものがあるか理解する。 ・対立構造の変容から、国際社会の力学の変化を理解する。	第２部現代の国際政治・経済 第１編現代の国際政治 第１章国際政治の動向と課題	【知識・技能】 国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現しているか、グループワーク、定期考査及び提出物で評価する。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
2学期	・限りある資金や資源はどのように選択され、配分されていくのか理解する。 ・経済的な効率性と公平性の対立関係について理解する ・中央銀行の役割について理解する。 ・財政の持つ様々な役割を理解する。	第１部現代日本の政治・経済 第２編現代日本の経済 第１章現代の経済社会	【知識・技能】 市場メカニズムの働きや市場の限界について主体的に追究しているか、グループワーク、定期考査及び提出物で評価する。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	・人口減少社会と格差・貧困が経済に与える影響を考える。 ・日本の中小企業の現状と課題を理解する。 ・国際化の影響を受ける農業について理解する ・消費者の権利と義務を理解する。 ・公害防止や環境保全のために必要な対策を理解する。	第１部現代日本の政治・経済 第２編現代日本の経済 第２章現代の日本経済と福祉の向上	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 人口減少社会が直面する経済的課題について協働的に考察しているか、グループワーク、定期考査及び提出物で評価する。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3学期	・新興国がおよぼす国際経済への影響を理解する。 ・中国とインドについて、その現状と課題を理解する。 ・グローバル化の進展がおよぼした経済や社会への影響と課題を理解する。 ・日本のＯＤＡの現状と課題を理解する。	第２部現代の国際政治・経済 第２編現代の国際経済 第１章国際経済理論 第２章国際経済の動向と課題	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 日本経済にとって、円高傾向がよいのか円安傾向がよいのかについて、協働的に考察し、それらを適切に表現しているか、グループワーク、定期考査及び提出物で評価する。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
							合計 78